



# 週報 Rotary



所沢西ロータリークラブ

RI 第2570地区第3グループ

会長 内田 学  
 幹事 鈴木 伴忠  
 クラブ管理運営委員長 荻野 陽一

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 ヘルヴィザ グラン TEL 04-2923-4122  
 事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL 04-2926-1666  
 例会日 毎週火曜日 (PM1230~1330) FAX 04-2926-5151  
 E-mail [nishiro@dreamo.ocn.ne.jp](mailto:nishiro@dreamo.ocn.ne.jp) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/>

## 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

## 第 1439 回例会 2016・5・24

卓 話	例会当番	記念祝福
5/24「自治会&町内会の今後」 所沢自治連合会会長 安田 敏男様	川島 昇	
5/31「健康寿命」健康運動 指導士 藤巻 陽子様	栗原 和明	

■出席報告	
月 日	5/17
会員数	33
出席者	29
出席率	87.8%
前回修正	—

### 会長の時間

内田 学

皆様今日は、今日はジミメして食欲が無くなる方にお勧めの簡単で以外に色々な食材にあう調味料の作り方と活用した簡単レシピの話をしていただきます。

一つ目は、梅干しプラス濃い口醤油 プラス鰹節 適当な広口瓶(ジャム空き瓶)に種を取った梅干しを2個位に鰹節を瓶の深さの半分、そこに濃い口醤油を入れて、冷蔵庫で一晩 豆腐、生野菜、汁をかけても、鰹節をのせても、全部を掻き混ぜてのせても、素麺のつゆに入れても、サッパリとするのでお試し下さい。

後一つは、味噌、マヨネーズ、は皆さまお馴染みですが、プラス 粒マスタード、味噌は塩分が色々有るので、約スプーン半分、マヨネーズ、マスタードスプーン1ずつで、野菜スティックや、肉にも以外にあいます。宜しかったらお試しください。

### 幹事報告

鈴木 伴忠

- ◆地区大会スナップ写真データを頂きました。
- ◆「高校生社会体験活動支援委員会」ご協力のお願い (就労体験の受入事業所の募集)
- ◆埼玉県より依頼の広報ポスター
- ◆「国際ロータリー年次大会 (On To Seoul)」がバナーズナット開催のご案内

- ◆ロータリーネーターニュース 2016年6月号
- ◆ヨウ国際大会での日本学友のハイライト
- ◆ハイライトよねやま 194号
- ◆青少年派遣交換学生の「月次報告書」
- ◆フレッシュロータリー研修出席者報告のお願い
- ◆「RIJO=FAQ」配信履歴 (~2106年4月末)
- ◆バギオだより 2016年5月号
- ◆糞谷八幡湿地保存会から小学生田植え日時変更のご連絡 5月27日(金)9時30分~
- ◆事務所移転により住所変更のお知らせ・日高 RC 〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館
- ◆例会変更・・・所沢東 RC
- ◆次年度役員・理事のお知らせ・・・狭山中央 RC、入間 RC、入間南 RC、新所沢 RC、所沢 RC、所沢東 RC、所沢中央 RC
- ◆週報・・・飯能 RC、入間南 RC、所沢中央 RC、新狭山 RC、新所沢 RC、所沢東 RC、

### ゴルフ担当委員長

山田 富男

春の親睦ゴルフ大会が5月19日(木)に開催されます。集合時間に遅れないように出席をお願いします。

- 内田 学 ああす設計室の鹿田様・葛川様本日は宜しくお願ひ致します。
- 鈴木 伴忠 葛川先生・鹿田先生本日の卓話よろしくお願ひします。
- 本橋 正夫 鹿田御夫婦本日は御無理をお願ひ致しますましてすみません。宜しくお願ひ致します。
- 石井 秀夫 ああす設計室の鹿田先生・葛川先生本日の卓話宜しくお願ひ致します。
- 平林 忠 体調を崩してしばらくお休み致しました。
- 和記 毅 前回欠席しました。
- 大原 律子 2月号のローターの友の「パズルdeローター」に始めて応募しボールペンを頂きました。とてもなめらかに書けます。有難うございました。

### 卓話 「物(モノ)」としての建築と「事(コト)」としての建築

ああす設計室

一級建築士 鹿田 征歳様

一級建築士 葛川かおる様



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のメインスタジアムである「新国立競技場」の設計をめぐって、建築家やその建物がニュースで大きく報道されました。

建築専門誌など僅かな情報でしか知り得なかった、イラク出身の建築家「ザハ・ハディド」の存在が、多くの日本人に知られる日が来ようとは、長年建築に携わってきた私達には思いもよらない出来事でした。また、何より予想外だったのは、「新国立問題」、あるいは「2020年のオリンピック問題」という大きな国内騒動の一部として、ザハさんが記憶さ

れることとなったことです。

こうした一連の騒動は、『単体の「物(モノ)」として建築物を評価する時代』から、『建設プロセスや、その後の利用を含めた一連の「事(コト：出来事)」の中で建築物を評価する時代』に照らしてみれば、自然の成り行きだったのかもしれませんが、それでも、ザハさんの立場を少し気の毒に思うのもまた事実です。



ザハ案の白紙撤回の後、A案が採用されましたが、私達はかつて、そのA案で新たに設計チームとして参画したグループ企業の一社に在職していました。そして、10年も前のことですが、スペインを旅した際、「ザハ・ハディド」の建築を訪れたことがあります。

今回、卓話では、このような経験にもとづき、一連の騒動でメディアに取り上げられた建築やその設計者について、少し違った角度から紹介させて頂く良い機会だと考えました。

ザハさんの追悼や、建築業界の信頼回復ほど大袈裟な意味はありませんが、ニュースで報道されることの無かった建築の良さや楽しさを、少しでも知って欲しいという気持ちがあります。それは言わば、純粋な「物」としての建築物の紹介です。

また、「物」としての建築をつくる枠組みには収まりきらない取り組みも、徐々にではありますが増えています。設計過程に市民参加を促すワークショップ等が有名ですが、そのような取り組みを経て建設された建物を、『「事」としての建築』と表現しています。話し合いというプロセスや、建物の供用開始後のイベントなど「出来事」に重きを置いた建築という意味です。

今回の卓話では、「物」としての建築と「事」としての建築について、私たちの日頃の活動も交えながらご紹介したいと存じます。